



椎の木

令和6年7月1日発行 7月号

朝霞市立朝霞第八小学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-41
TEL:048-465-8381 FAX:048-467-4739
児童数：1,138名

【目指す学校像】教育は子供の未来づくり ～児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校～



集団で学ぶこと

校長 田中 誠

あっという間に1学期最後の月、7月になりました。6月11日の除草作業には朝から暑い中、多数の保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。また、6月中旬以降に実施しました個人面談に学校へ足をお運びいただき、ありがとうございました。1学期の通知表の所見は、この面談に代えさせて頂いております。どうぞご了承ください。ここから終業式まで暑さに負けず、学期末のまとめに取り組んでいきたいと思っております。

さて、子供たちに「学校で学ぶことは何でしょうか？」と聞くと、必ずと言っていいくらい「勉強」という言葉が返ってきます。ここで子どもたちが意味しているのは、時間割にある「教科」というものになります。もちろんその通りなのですが、その教科の中で学ぶのは何でしょうか。学習指導要領には、学力の3要素として「知識・技能」「知識・技能を活用する力（思考力・判断力・表現力）」「学習に取り組む意欲（主体性・多様性・協働性）」と示されています。情報があふれている現在、知識や技能を身に付けるだけであれば、自分1人で調べればできてしまうかもしれません。しかし、3つの要素をバランスよく育むには他者との関りは欠かせません。学校という集団生活の中で学習することのよさは、「他者と関わりいろいろな考えを知ることによって、自分の考えを深めたり変えたりすることができる」「他者に説明したり他者と協働したりする活動により、思考・判断・表現する力を養うことができる」ことだと私は考えます。

集団生活のよさは教科の学習だけではありません。何かと一緒に取り組む際には様々な考えがあるので、まとまらないこともあります。そうした時に話し合い、どう折り合いをつけていけばいいかという折衝力を身に付けることができます。また、トラブルの解決も含め、他者との関りの中でコミュニケーション能力を身に付けていくこともできます。異年齢の関わりでは優しさや憧れといった心情も育まれるでしょう。

子どもたち相互、子どもと教師、子どもと地域の方々、……。たくさんの人との関わりを大事にしながら教育活動を進めて参ります。



6年生 修学旅行
5/30～31 1泊2日で栃木県日光市方面へ行ってきました。



6/4 4年生自転車運転免許
自転車の安全な乗り方について講習を受け実技指導もしてもらいました。



6/11 環境集会
保護者と先生の会の除草作業の前に全校で取り組みました。



6/19 縦割り活動
異学年交流の活動。名刺づくりを行いました。